

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局総務課
	施策	消防・救急の充実強化		電話番号	087-861-2502
	基本事業	消防施設・設備の整備		事業実施主体	市
	事務事業	消防署所適正配置整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 33年度

【事業全体概要】

事業の概要	南海トラフ地震等の大規模災害時にも防災拠点施設としての機能を維持するため、消防署・分署及び出張所の耐震化を行うとともに、効率的・効果的な消防体制を整備するため、消防庁舎の移転整備や機能統合を行うなど、消防署所配置の適正化を図る。
-------	--

29年度概要	朝日分署開署 施設利活用・出張所整備計画
--------	-------------------------

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	消防署所
意図(どのような状態にしたいか)	消防署・分署・出張所の防災拠点施設としての機能を強化し、消防署所を適正に配置する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
整備署所数	箇所			1	1	1

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
消防署所の耐震化率	%	目標値				91	91
		実績値			83		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成28年度以降に、北消防署朝日分署の整備工事を完了することで耐震化率が83%となる。 (目標達成度)							
消防署所数	箇所	目標値				12	12
		実績値			12		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成29年度には、北消防署朝日分署を移転し、消防署所の適正配置を図る。 平成29年度以降には、東消防署山田出張所の整備を行う。 (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[千円]	381,903	901,245	627,168	404,909
(事業費)	[千円]	377,105	896,255	622,065	400,111
(職員人件費)	[千円]	4,798	4,990	5,103	4,798

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

消防出張所の耐震化と老朽化への対応が課題であり、公共施設再編成整備計画との整備を図った上で、早期整備に努める。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

東消防署山田出張所の整備を行う。